

\\ TUNE-UP /



1976年創業のオーストリアのチューンナップツールブランド  
各国のナショナルチームサービスマンなど多くのプロフェッショナルが愛用する信頼のブランドです。

 TS0107 ダイヤモンドファイル#100 TS0108 ダイヤモンドファイル#400 TS0109 ダイヤモンドファイル#600 TS0110 ダイヤモンドファイル#1000 各¥6,200+(税) 各MADE IN AUSTRIA	 TS0111 ダイヤモンドファイル3点セット ¥18,000+(税) MADE IN AUSTRIA	 TS0085 クイックシャープファイル88°&89° ¥3,000+(税) MADE IN AUSTRIA
 TS0075 ファイルガイド89° ¥5,500+(税) MADE IN AUSTRIA	 TS0076 ファイルガイド88° ¥5,500+(税) MADE IN AUSTRIA	 TS0077 ファイルガイド87° ¥5,500+(税) MADE IN AUSTRIA
 TS0078 ファイルガイド86° ¥5,500+(税) MADE IN AUSTRIA		

\\ HOW TO / キレキレのエッジのキープ方法 ※スノーボード、スキー共通

ダイヤモンドファイル#100をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く

ダイヤモンドファイル#400をファイルガイドにセットし、エッジを削る&磨く

最後に、ダイヤモンドファイル#600をファイルガイドにセットし、エッジを仕上げます。

 ○長さ/150mm 細目(細仕上げ用) TS0106 フィンファイル150mm CUT2 ¥2,200+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○長さ/200mm 粗目(粗仕上げ用) TS0069 フィンファイル200mm CUT0 ¥3,000+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○長さ/200mm 中目(中仕上げ用) TS0070 フィンファイル200mm CUT1 ¥3,000+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○長さ/200mm 細目(細仕上げ用) TS0071 フィンファイル200mm CUT2 ¥3,000+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○長さ/250mm 中目(中仕上げ用) TS0006 フィンファイル250mm CUT1 ¥3,600+(税) MADE IN AUSTRIA
 ○エッジの粗削り用 TS0074 波目ファイル100mm ¥2,300+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○滑走面の凹凸面のフラット研磨やエッジの粗削り用 TS0072 波目ファイル300mm ¥4,200+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○滑走面の凹凸面のフラット研磨やエッジの粗削り用 ○チタンコーティングにより耐久性が非常に優れています。 TS0105 波目ファイル300mmチタン ¥5,600+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○切削深度、刃の角度調整が可能 角刃、丸刃の2WAYタイプ TS0068 ボーダーカッター ¥11,500+(税) MADE IN AUSTRIA	

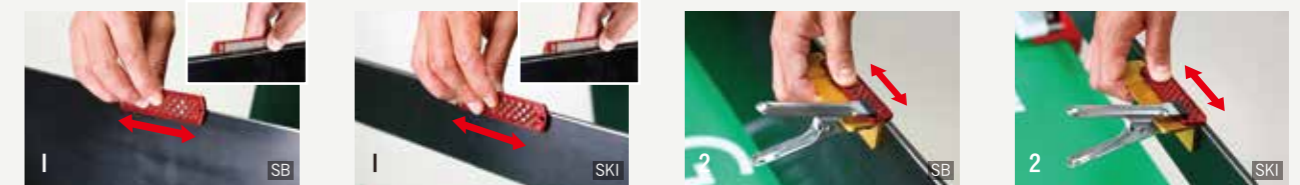
 ○滑走面のフラットチェック用 TS0089 フラットゲージ ¥3,600+(税) MADE IN AUSTRIA	 ○滑走面をフラットにする際に使用 TS0007 メタルスクレーパー ¥1,300+(税) MADE IN AUSTRIA	 TS0104 スクレーパー5mm ¥1,000+(税) MADE IN AUSTRIA
--	--	--

 ○3点止めベース アルミ製 センターベースは幅90mmまで対応し、プレート付きビンディングにも対応 TS0101 スキーベースプロ ¥28,700+(税) MADE IN ITALY	 ○ファットスキー、ジャンプ競技用スキーにも対応 センターベースは幅150mmまで対応 TS0102 スキーベースプロワイド ¥38,200+(税) MADE IN ITALY	 ○スノーボード専用 TS0103 スノーボードベース ¥20,500+(税) MADE IN ITALY
--	--	--

\\ HOW TO / エッジの調整 ※スノーボード、スキー共通

エッジが錆びていたり、傷が付いていたり、丸まっているようでは、ターンはもちろん、エッジを効かせてストップさせることも難しくなります。そこで、滑りの心臓部でもあるエッジを念入りに点検し、エッジを削って角を立てます。エッジの角度は種目、技術、コースコンディションなどに合わせて角度を変えます。

**エッジの焼き取り** (焼きとは?) 滑走中に石などを踏み、摩擦で焼け、エッジが硬くなる現象。エッジが焼けると、ファイルが噛まなくなり上手にファイリングが出来なくなります。エッジに焼きが入っていると、ファイルで削ることができません。



**ベースエッジの焼き取り**  
エッジに焼きが入っていると、ファイルで削ることができません。ダイヤモンドファイル(#100)を使って、ベースエッジの焼きを取り除きます。

**サイドエッジの焼き取り**  
エッジに焼きが入っていると、ファイルで削ることができません。ダイヤモンドファイル(#100)をファイルガイドにセットして、サイドエッジの焼きを取り除きます。

※ダイヤモンドファイルは、水で必ず濡らしてからご使用ください。

**ベースエッジビベリング**

エッジの調整の中でも、ベースエッジビベリングは滑走面側のエッジに角度を付けることで、スキー、スノーボードの性能を引き出すための重要な作業です。角度は滑走面の形状やスキーヤー、スノーボーダーの技術、種目、コースコンディションなどによって異なります。



**フラットをチェック**  
滑走面の状態をフラットゲージで確認します。



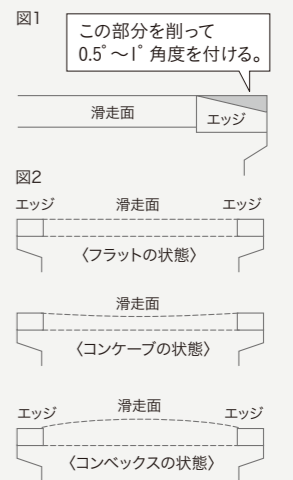
**ベースエッジを削る(図1参照)**  
粗目又は中目のファイルでベースエッジをビベリングします。

ビベリングの方法は、滑走面の状態で(図2参照)若干異なります。下記説明を参考に作業してください。

**〈フラットの場合〉**  
ファイルのエッジ側に載せた手に均一に加重しながら少しずつ削ります。この時あまり加重させすぎると波を打ったり、思った以上にビベリングしてしまうので注意しながら削ってください。よりビベリングしたい場合は、テープなどを巻いて削ってください。(図1参照)

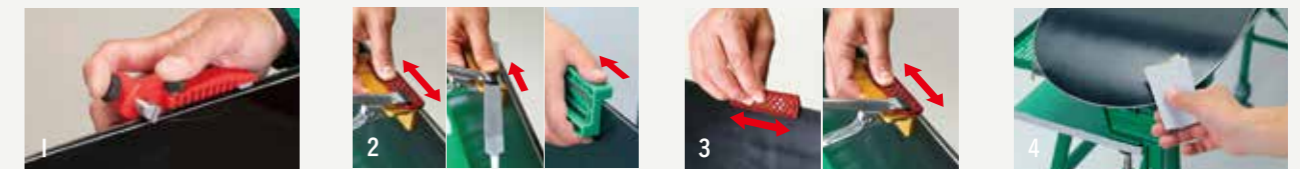
**〈コンケーブの場合〉**  
この状態はエッジがひっかかりやすい状態ですので、[フラットの場合]で行う作業を参考にエッジを削っていきます。(図1参照)

**〈コンベックスの場合〉**  
この状態はエッジがかかりにくい状態なので、滑走面を削りフラットな状態にする必要があります。この作業に関しては、専門店での施工をお勧めいたします。フラットな状態にした、図1の作業を行います。

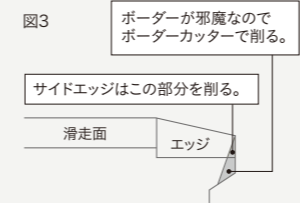


**サイドエッジビベリング**

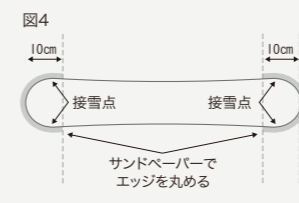
サイドエッジビベリングはエッジに角度を付けることで、エッジグリップが増し、シャープな回転を得るために行います。角度は、技術・種目・コンディションなどによって異なります。大きな角度を付けると操作が難しくなるので、自分に合った最適な角度を付けてください。



**ボーダーを削る**  
エッジを研磨する際、エッジを保護しているボーダーが邪魔になるので、ボーダーカッターを使ってボーダーを切り落とします。(図3参照)



**サイドエッジを削る**  
左:ダイヤモンドファイルを使用した場合  
中:ファイルを使用した場合  
右:サイドエッジシャープナーを使用した場合



**バリを取り除く**  
○ファイリングでできたベースエッジのバリをダイヤモンドファイル(#400又は#600)で落とします。(写真左)  
○次に、ダイヤモンドファイル(#400又は#600)をファイルガイドにセットして、サイドエッジのバリを取り除いてください。(写真右)  
○ベースエッジ、サイドエッジの順に3セット程度交互に行うときれいに仕上がります。  
※作業を終える時は必ずサイドエッジの研磨で終了してください。ベースエッジの研磨で作業を終えると、サイドエッジにバリが残る、ターンの途中でスキー、スノーボードが引っかかる原因となり危険です。

**ダリング(スノーボードのみ)**  
ノーズやテールのエッジが鋭く立ち過ぎていると、スノーボードが雪面に引っかかって、思うようにターンできません。また、転倒した時、自分のスノーボードで怪我をすることもありますが、ノーズとテールの部分のエッジをダリングします。(図4)の黒太部分のエッジが立っていると、ターン時にエッジが引っかかり、うまく曲がれないため、この部分をサンドペーパー#150で調整します。  
※種目・コースコンディションにより異なりますので、少しずつ調整してください。